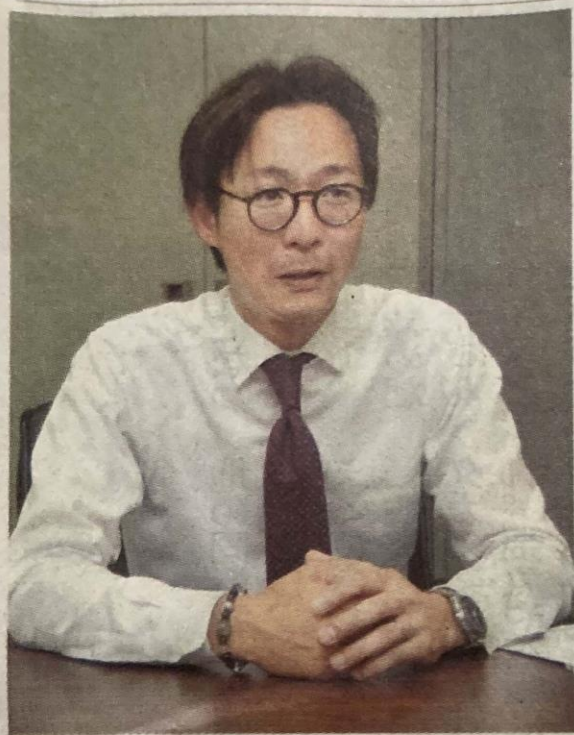


# 子ども支援資産で助成

## 徳島の大塚さん 高知の団体にも



子どもの貧困や児童虐待などを解決する手助けにと、大塚グループ創業家の大塚芳紘さん(41)＝徳島県板野町＝が個人資産を活用した助成事業を2020年度に始めた。高知県

内では8団体が計25万4千円の助成を受け、本年度は7月から募集する。大塚さんは、医薬品や食料品など幅広く手掛ける大塚グループ創業者のひ孫。02年に大

塚製薬工場(鳴門市)に入社。仕事の傍ら、社会貢献活動がしたいと個人的に途上国の学校建設などに携わり、日本の子どもの貧困問題にも関心を深めてきた。「生まれた場所でも不公平が生じるのはどうか。熱意ある団体を支援したい」と昨年退職し、一般財団法人「チ

↑「いろんな人と出会い、勉強しながら財団の活動をしている」と話す大塚芳紘さん(高知市朝倉戊の県ボランティア・NPOセンター)

ヤイルドライフサポートとくしま」を立ち上げ。子ども支援に取り組みNPOなどへの助成を始めた。大塚さんが保有する株式の配当から年間2550万円(21年度)を助成金に充てている。

「妻は『なんでやめるの?』と反対しましたが、子どもを支援したいと話したら『それならいい』と。普通に考えたらおかしい人ですよね」と笑う。

活動初年度は高知市のNPO法人「GIF T」、「佐川こども食堂 さくらんぼ」など四国

内の32団体に1478万7千円を交付。本年度は「子どもの笑顔はぐくみプログラム」と

して7月から、四国・関西の団体の応募を受け付ける。

子どもの居場所づくり、不登校・引きこもり、児童虐待、障害、難病支援などを行う団体が対象で、継続事業助成(上限50万円)、事業発展助成(同100万円)の2コース。

応募チラシができた第、県ボランティア・NPOセンター(高知市朝倉戊)で配布予定。大塚さんは「助成団体をつなぎ、事例発表会なども開催したい」と話している。(松田さやか)

### 一知事動静 5日

【午後】ウェブ会議で健康政策部など。